

実験名称	「宅急便」東京・宇都宮～函館間の鉄道活用実証実験							
実験概要	・31ftコンテナを使用し長距離トラック輸送を鉄道利用に転換							
申請者	荷主等	ヤマト運輸(株)			物流	全国通運(株) 日本貨物鉄道(株)関東支社		
実験期間	H17年4月～H18年3月(1年間)							
輸送経路	現行	鹿沼(トラック) 青森港(船) 函館港(トラック) 北海道上磯 北海道上磯(トラック) 函館港(船) 青森港(トラック) 東京都区内						
	転換後	鹿沼(トラック) 宇都宮タ(鉄道) 五稜郭駅(トラック) 北海道上磯 北海道上磯(トラック) 五稜郭駅(鉄道) 隅田川駅(トラック) 東京都区内						
貨物	品目	宅配便、特積貨物			貨物量	3,000トン 3,000トン 計6,000トン		
CO2排出量	現行	744.0 t-CO2/年	転換後	125.3 t-CO2/年	削減量	618.8 t-CO2/年	削減率	83.1%
補助金申請額	4,000,000円							
施策効果	154.7t-CO2/百万円・年							
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・往復 ・東京～鹿沼間は従来通りトラックによる回送 							

